

良い記録／悪い記録②

トレーニング編

「5W1H」が記録の基本

「いつ(When)」	本日14時30分から
「どこで(Where)」	浴室で
「だれが(Who)」	Aさんが
「なにを(What)」	入浴をする
「なぜ(Why)」	清潔保持のため
「どのように(How)」	リフトを使う

5W1Hトレーニング

それぞれの問いに対して、どのように加筆したら良いか、最近実際に行ったケアを振り返りながら考えてみよう。

問1)「いつ」を意識して加筆してみよう。

お声がけの上、トイレに誘導した。

⇒

解答例

例1)

食後にお声がけの上、トイレに誘導した。

例2)

18:50にお声がけの上、トイレに誘導した。

- ・○時○分まで記入できると尚良い
- ・特に事故やヒヤリハット報告書では、発生時間の正確な記載が求められる。

問2)「どこで」を意識して加筆してみよう。

体が傾き転倒しそうになったところを支えた。

⇒

解答例

例1)

脱衣所と浴室の間で、体が傾き転倒しそうになったところを支えた。

例2)

車いす上で、体が傾き転落しそうになったところを支えた。

- ・場所の記載があれば、事故が起きやすい場所、BPSDが発生し易い場所などの特定にも役立つ。

問3)「だれが」を意識して加筆してみよう。

面会希望の連絡があった。

⇒

解答例

例1)

長女様より面会希望の連絡があった。

例2)

警察より面会希望の連絡があった。

- ・「ご家族」とは書かず、続柄を書いた方がわかりやすい
- ・相手によっては面会拒否となっていたり、悪意を持って接触してくる人もいるため注意が必要

問4)「なにを」を意識して加筆してみよう。

着替えを手助けした。

⇒

解答例

例1)

上着の着替えを手助けした。

例2)

入浴介助で、着替えを手助けした。

- ・「何をしたのか」「何ができたのか」がわかる
- ・「何のケア」だったのかがわかると、利用者への具体的なアプローチも伝わりやすい

問5)「なぜ」を意識して加筆してみよう。

体調がよくないようだった。

⇒

解答例

例1)

顔色がいつもと比べて青白く、体調がよくないよう
だった。

例2)

体温が37.5℃あり、体調が良くないようだった。

- ・判断の理由があると、その後の振り返りにも役立つ
- ・具体的な数値やデータが記載されていると、その根拠が明確になる

問6)「どのように」を意識して加筆してみよう。

便座から立ち上がった。

⇒

解答例

例1)

自力で便座から立ち上がった。

例2)

正面の手すりにつかまり、前かがみになって便座から立ち上がった。

- ・日頃の様子が、生活動作の援助や機能訓練のヒントになる
- ・多職種で共有すべき情報が多い

お疲れ様でした。